福岡女学院
同窓会会報
Vol.21
2016 January

ぶどう

BUDOU

Alumnae association bulletin

2016

CONTENTS

福岡女学院理事長挨拶……1
福岡女学院院長挨拶……1
福岡女学院大学・短期大学部学長挨拶…2
福岡女学院看護大学学長挨拶……2
2015年度同窓会総会報告……3
同窓会会長挨拶……5
50年目の卒業式……5
25年目の同窓会……6
看護大学同窓会……6
同窓会へようこそ……6
支部だより・2015年度支部総会報告…7
卒業生紹介……9
二田校長 校歌作曲……10
教養講座グレープ・ガーデン 報告・次回予告…10
福岡女学院同窓会会則……11
大学開学25周年記念行事……13
音楽科卒業生会……14
卒業生合唱団「葡萄」……14
バザー報告・グッズ紹介……15
お仕事会報告・同窓会本部……16
中庭 自動散水機 導入……16
会計報告……17
ガリラヤ湖のほとり……18
ネパール大地震救援募金へのお礼…18
同窓会100年史……18
逝去……18
イベント案内……19
編集後記……19

福岡女学院 理事長挨拶



学校法人 福岡女学院
理事長 十時 忠秀

理事長に就任して7ヶ月が経ちました。

本来ならば柔らかいお話を書きたいところですが、少し辛口になることをお許しください。学院の現状について少しお話します。昨年度は学院全体で単年度赤字になり繰り越しも赤字です。私学振興事業団経営情報センターの評価では、イエローゾーンの予備的段階に近いとされました。中・高校だけ見れば過去5年間の赤字は毎年約2億円で累計9億円を超え、過去10年でも15億円を超えます。学生納付金に対する人件費の割合が170%を超え、如何に人件費が高いかわかります。中・高だけの法人であればとっくに倒産は免れなかったと思われます。中・高だけでなく、幼稚園も短大も赤字です。

大学も改組に伴う教員数が急増しています。

就任してまず行動目標を掲げました。「改革と伝統が共存する福岡女学院」です。

そして理事長直轄に経営企画室、経営管理監査室、学校改革推進室を設けました。

女学院の進化には「教職員の意識改革」が大切です。

教育現場での意識改革は大変難しいと考えます。教育のやり方、方法には正解がないと考えるからです。しかし経営の成り立たない状態では負のスパイラルに陥り、建学の精神も130年培った素晴らしい宝物も無くしてしまう可能性があります。

一番大切なことは建学の精神にふさわしい学生、生徒、園児を育てることです。そのために優秀な教職員を集めたいと考えております。

ご存じのお子さんがおられましたら是非女学院へとお勧め下さい。

女学院で勉強して良かったと、ご両親もお子さんも思っていただける学院作りに努力いたします。寄付も是非お願いいたします。赤字補填に決して使用しません。女子教育の充実のため使わせていただきます。

一番嬉しいことは、執行部に神様のお恵みとしか思えない素晴らしい面々が揃ったことです。

本気でV字回復を目指したいと考えておりますので、今後ともよろしくご支援ご指導お願いしてご挨拶とします。

福岡女学院 院長挨拶



学校法人 福岡女学院
院長 寺園 喜基

今年度より院長に就任しました。どうぞよろしくお願いします。わたくしは26年半、九州大学でキリスト教を中心に宗教学を講じ、その後13年半、西南学院大学で神学を講じ、その後半の8年間は学院長、また4年間は理事長として勤めてきました。女学院との関係では、九州大学の助教授時代に10年以上にわたってキリスト教学の非常勤講師をし、また徳永徹先生が院長に就任されてからは理事、常任理事として約10年奉仕させていただきました。

そのような関係の中で、このたび院長に就任させていただきました。創立130年になるこの女学院の歴史の火に、わたくしなりに一本の松明をくべたいものと思います。

女学院にとって大切なことは、幼稚園から中学・高等学校・大学・看護大学という学院全体が、建学の精神に貫かれており、ここに一つの命が川のように流れているということだと思います。この意味で、院長の仕事は建学の精神の宣教師であるとも思います。学院聖句の「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。」は、命の木である神とその枝としてのわたしたちの関係を示していますが、この木と枝に流れている命は、女学院全体をも貫き、流れているのです。そしてこの建学の精神に貫かれている「女学院人間像」を追い求め、実現していきたいと思います。

私は機会あるごとに、「サーバント・リーダーシップ」ということを言っています。職場・学校など社会においてリードすることが出来るような人物になる、そのリードするとはサーバントとして奉仕できることによってである、ということです。世のため人のために尽くすことが出来る人物、その実力と見識をもった人物を育てることを目指したいと思います。

福岡女学院大学・短期大学部 学長挨拶



福岡女学院大学
福岡女学院大学短期大学部
学長　髙島 一路

私は１９８４年に短期大学の音楽の教員として採用になり、今年で福岡女学院に勤め始めて32年目を迎えました。短期大学学長、中学高校校長、天神サテライト長を経て、この度大学学長という重責を担うことになりました。あらためてよろしくお願いいたします。大学運営は一人ではとても果たすことができません。大学の先生方、事務スタッフの方々との信頼関係を築き、良きチームとしての力が発揮されるよう、微力ではありますが、鋭意努力させていただいているところです。

大学は昨年25周年を迎え、一昨年50周年を迎えた短期大学部を含め４学部８学科、さらに大学院人文科学研究科を加え、学院聖句から「つながる」というキーワードをいただき、「イエスキリストの愛によって共につながり、希望をもって、社会へ未来へつながる」というヴィジョンのもと教育研究活動が続けられています。

福岡女学院１３０年の歴史と伝統につながり、毎日、授業の合間に行われる礼拝を中心とするキリスト教教育を基本にして、学生一人一人を大切に、熱心な教師陣の指導のもと、学生約２５００名が真剣に日々励んでいます。

大学25周年を記念して行われた、シンポジウム『世界とつながる女性の生き方－福岡女学院大学のMission Spirit－』では、各分野で活躍する卒業生が集まりました。UNICEF職員、中学国語教員、臨床心理士、日本語教員、客室乗務員の方々がフリーアナウンサーの方のコーディネートのもと、女性のキャリアとして貴重な体験報告の数々に、参加した現役学生、高校生に大いなる刺激が分かち与えられました。

参集された恩師の方々、現教職員もまさにMission Spiritの証として、ぶどうの枝につながる、まさに「たわわに実った、ぶどうの実」である卒業生たちの活躍ぶりに感慨無量となり、これからの福岡女学院大学に明るい希望を見いだし、喜びと感謝で一杯になりました。そして「豊かな感性と教養を身に付け、特に国際化・グローバル化がすすむ現代社会で活躍する社会人女性」を育成していきたいという思いをあらためて強くもつことができました。

福岡女学院看護大学 学長挨拶



福岡女学院看護大学
学長　片野 光男

福岡女学院は「キリスト教に基づいて女子教育」を実践するという建学の理念を守りつつ１３０年間歩んでまいりました。先ずは、同窓会の皆様にお慶びとお礼を申し上げます。

現在、医療技術の発展によって寿命は延長し、病気のコントロールもかなりできるようになりました。しかし、それに伴って、一人で生活するお年寄りも増え、これに伴う様々な問題も生まれています。このような時代においてこそ、女学院がお役にたつべきとの思いで、２００８年看護大学を設立いたしました。おかげさまで、これまで女学院学生として胸を張ることのできる優秀で優しい４００名を超える看護師たちが旅立ちました。

私は、２０１５年８月より、福岡女学院看護大学の４人目の学長という職責を背負わせていただくことになりました。専門は外科で消化器のがん患者さんの診療と腫瘍専門医の育成に関わってまいりました。私の人としての目標は、「社会のよりよい道具となる」ということです。先ずは、福岡女学院看護大学をキリスト教の愛の精神に基づく日本で一番美しいキャンパスに作り上げたいと思っています。看護大学の門をくぐり一歩足を踏み入れると、優しさの中に凛とした心情が自然と湧いてくる森の中に佇むようなキャンパスにしたいと思っています。そのようなキャンパスでは、「看護を通じてより多くの社会貢献をするため、各々の役割を持ってここに集まっているのだ」ということを常に意識した礼儀正しい清潔な身なりの学生と教職員が小路を行き交い、建物の中では、学生や教職員が廊下の端を颯爽と歩いている姿が目に浮かびます。

人々にとっての心優しい道具となることは本当に困難な生き方です。どうかこのような志を胸に秘めた看護学生・教職員が一人でも多く育ちますよう同窓の皆様のご支援をお願い申し上げます。何より、私が職責を全うするための強い背骨を備える努力を怠りませんようにお祈り頂ければ幸いです。皆様の上に主の平安が注がれますように。



2015年度同窓会総会報告

2015年5月15日(金)西鉄グランドホテルにおいて来賓及び同窓生209名参加のもとに福岡女学院創立130周年、同窓会設立100周年記念総会を開催いたしました。

【第一部】礼拝・総会

礼拝の奨励は、大学宗教主事大島一利先生にお話ししていただきました。

「福岡女学院130年の歩みの中で、しおれかけ、疲れ果てる時が多々ありました。創立間も無い頃も、戦中、戦後の困難な歩みも、そのような時でした。しかし今、私たちは130年の花を見ています。それは私たちが草のよう、野の花のようであって、神の養いがあるからにほかなりません。同窓会本部設立100年、今日に至るまでの多くの養いが与えられてきた事を思いつつ、真の謙虚と喜びに満たされて祝いたく存じます。」と説かれました。

総会の議事は全て承認されました。今年度は、伊藤和子会長をはじめ、新たに1名の役員が加わり23名の役員で務めてまいります。


Fukuoka Jo Gakuin 130th

第1部

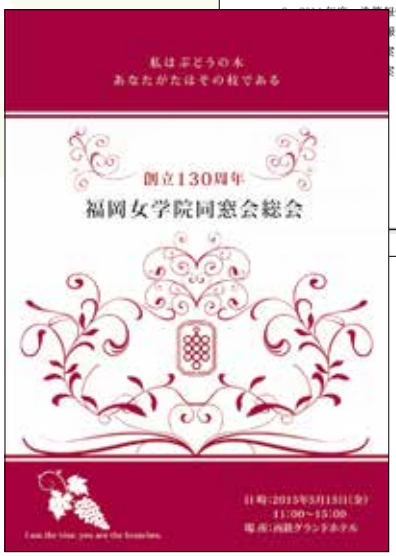
司会／山下 僧子 (S55高)
奏楽／月野木 直子 (S60音)

◆礼　拝
讃美歌　390番（讃美歌21）
聖　書　イザヤ書 40章6節～11節
奨　励　福岡女学院大学宗教主事 大島 一利
『130年の花となる』
頌　栄　Gloria Patri
祝　祷

◆総　会
開会のことば　鶴 英子 (S38高)
会長挨拶　伊藤 和子 (S46高)

◆議長団選出
議事
1. 2014年度 活動報告　総務部 元山 香織 (S59高・S61短)
　　財務部 松島 純子 (S47高)
　　監査 菅原 奈穂子 (S63高・H3短)
　　財務部 松島 純子 (S47高)

－1－



総会プログラム

BUDOU

【第二部】懇親会

懇親会は福岡女学院院長・寺園喜基先生の乾杯で始まり、ゲストにお迎えした伊佐山ひろ子さんのトークショーが、大神いずみさん（S63高卒）の軽やかな司会で開催されました。

トークショーでは、3年間担任をしていただいた恩師 岡崎あや先生との思い出を語っていただきました。

先生は伊佐山さんの「上京して女優になりたい」という夢を理解され、反対するご両親を説得するためわざわざ自宅にまで来てくださったそうです。

「女学院では先生や友人達がありのままの私を受け入れてくれたことによって、私もまた人を信じるということを教えられました。」と言われたことも印象的でした。

現在女優として大活躍されており、遠藤周作原作、スコセッシ監督「沈黙(原題：Silence)」に出演されるそうです。

その後、当番学年によるピアノ、ヴァイオリンの演奏、卒業生合唱団「葡萄」によるコーラス、そして最後は出席者全員で「創立記念日の歌」「ハレルヤ」の大合唱で2015年度の総会は無事に幕を閉じました。

この総会のためにお忙しい中ご協力くださいました皆様に、心よりお礼申し上げます。



伊佐山 ひろ子 さん





大神 いずみ さん

当番学年より

高校1年時を創立100周年の歴史と共に迎え、30年の時を経て、創立130周年の節目に、同窓生20名で微力ながらのお手伝いを担わせて頂きました。

総会の開催に至っては、事務局の方々の多大なるご尽力と、何と言っても、総会に出席される恩師の先生方、大先輩方、同窓生、後輩の皆々様の面々があっての事と、強く感じ入りました。

同窓会総会・創立記念日が、母校を想い、共に学んだ学友を想い、学んだ理念と誇りと自覚に立ち返る日として、末永く盛況に続きます事を心よりお祈り申し上げます。

大役の貴重な経験を担わせて頂き、無事に開催できました事、関係者皆様方に心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



当番学年
S63年高卒・H2年短卒

創立131周年 2016(平成28)年度
福岡女学院同窓会総会

日　時：2016年5月17日(火) 午前11時～午後3時
場　所：ソラリア西鉄ホテル
会　費：7,000円
80歳(S29年高卒)以上の方 5,000円・新卒の方 3,000円
当番学年：H1年高卒・H3年短卒

詳しくは同封のチラシをご覧下さい。
チラシ(裏面)の振込用紙にてお申し込み下さい。



※ご注意：あらかじめ同窓会本部から許可のないチラシ・印刷物の提示や配布はご遠慮下さい。

会長挨拶



同窓会会長
伊藤 和子
（S46年高卒）

子供たちの成長に感謝

新年明けましておめでとうございます。皆々様お健やかに年の初めをお迎えの事と存じます。

お蔭様で、私も会長として2年が経ちました。皆々様のご協力とご支援のお陰で、同窓会も元気に活動が出来ます。心より感謝を申し上げます。

いよいよ同窓会100周年を記念して、100年史が完成致します。皆々様のお話しやお写真等のご協力のもと、又100年史制作委員会の栗山昌子委員長を始めとする委員の皆様のお働きの賜物と感謝を申し上げます。お一人でも多くの方々に読んで頂きたいと願っております。

さて、私は3人の子供がおります。2人目の子が1才の時に、今の家に移り住みました。丁度クリスマスの時で、年末から年始にかけて舅と姑とゆっくりお正月を共に過ごし、その後家に戻った姑は、跪いた際に骨折をして入院、その後舅も倒れ入院。大学病院の上下で入院生活が始まりました。退院を間近に控えた舅は、突然天に召されました。残された姑は4ヶ月後に退院をし、我が家へ連れて帰りました。1年後、3人目が生まれ子供たちは、お陰様で元気に成長しました。その中で、姑は少しずつ動けなくなり、病院や特老にお世話になりました。見舞いが続き、だんだん子供たちが大きくなり「折角のお休みなのに、パパもママも又病院なの。」と、言われない様に、「このヴァイオリンはお祖母ちゃんに買って戴いて良かったね。」と言っては、少し上達するとヴァイオリンを持って弾きに見舞いへ行ったり、「読みたい本を買ってあげなさい。」と、「本代をプレゼントしてくれたよ。」と言っては本屋へ好きな本を買いに行ったり、お年賀には「お年玉を下さったよ。」と言っては「有り難いね、いつも心配しているのね。」と。週末に戻ってくる姑を、みんなで喜んで迎えてあげたい。お祖母ちゃんが生きてくれているから、パパもママも支えられている、寂しくない事を子供たちにもわかって欲しいし、何より大切に思って欲しい。この気持ちを子供たちに伝える事に、一生懸命でした。これには、私の実家の両親の支えも大きく、本当に感謝でした。

人間は「いい加減だと言訳が出る。中途半端だと愚痴が出る。一所懸命だと知恵が出る。」この言葉に励まされながら、日々を送っていました。子供たちは親の思いを子供ながら良く見、よく考え、受け止め、文句を言わずに過ごしてくれました。それから15年後姑は天に召されました。「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。全てのことに感謝しなさい。」

子供たちは、本当に人の心の分かる、優しい思いやりのある人として成長してくれました。夫育ては無理でしたが・・・。私は母にも姑にも良く育てて貰いました。又子供たちも、そうあって欲しいと願います。いつも学びを忘れず、深く広い心で生きて行って欲しいと心より祈ります。

50年目の卒業式

S39年高卒　金子 克子

昭和20年、21年生まれの私たち39年卒は、まさに敗戦という経験をのりこえ、新しく生まれ変わりつつある日本と共に育ってきました。戦後、怒涛のように入ってきたアメリカ文化に私達の親は目をみはりました。そんな中で育てられたためでしょうか、この学年はなかなか群れないのです。しかし、この由緒ある同窓会行事には、あまり多いとは言えない人数ながら心を持ち寄り、ささやかに祝うことが叶い、感謝の気持ちでいっぱいです。同窓会の入り口に立つ新卒業生と卒後50年を経た私達と共に臨む卒業式は、福岡女学院の伝統のすばらしさとして私たちの心を充たしました。

その後の昼食会に徳永徹先生をはじめとする先生方がお見えになり講話を頂きました。その中に私達が中2の時の新任だった数学の福島先生のお顔もありました。最後に私たちが中学3年で引っ越してきた時とはあまりにも大編成になった現在の福岡女学院の建物群を会員部の方に案内して頂き、ため息と共にそれぞれの思いを胸に学院をあとにしました。





25年目の同窓会

H2年高卒・H4年短卒　赤間　有美（旧姓／三苫）

25年ぶりの友との再会

創立記念日に「卒後25年の集い」を行いました。メイポールダンスの曲が流れ、中2の生徒のダンスを観覧すると、いつの間にかタイムスリップ!!溢れ出る思い出話は止まりません。

二田校長先生、森教頭先生、緒方先生、嶋田先生、鶴原先生、谷口先生、本村先生にお会いでき、メイクィーンにも顔を出してもらい、同窓生52名と華やかな会となりました。

途中、同窓生でもあり音楽教員として在職している新開さんが校内ツアーを決行、懐かしい校舎や大学の新校舎を30分で見学する予定が1時間かかったりと楽しい時間を過ごしました。

二田校長先生をはじめ、中学・高校事務室、同窓会の方々にこの様な機会を作って頂き、ありがとうございました。母校に触れ、私達はぶどうの枝で繁っているのだと改めて実感でき、感謝の気持ちでいっぱいです。

集えた友、集えなかった友、またの機会に。



同窓会へようこそ

2015年5月16日、創立記念日に関東よりお越しくださいました。今も女学生のようなS20年女卒の同級生のお二人です。偶然、福岡中部教会の古屋治雄牧師とお会いになり、記念写真を撮らせていただきました。



左:中島 紀久代さん(旧姓 平川)　右:梅北 えるさん

2015年11月、福岡県久留米市より同窓会本部を訪問されました。メサイアコンサートで歌われたり、教会でオルガンの伴奏をされたりとご活躍です。



左:S19年女卒 田上 永子さん
右:伊藤和子同窓会会長とお二人とも北九州支部長でした!



看護大学同窓会

H24看大卒　上野　都花（旧姓／惠藤）

2015年11月1日(日)サンヒルズ博多にて福岡女学院看護大学同窓会が開催されました。
1期生から4期生の同窓生、十時理事長、片野学長、齋藤副学長、前田学部長、徳永顧問、松岡顧問、お世話になった教職員の方々、総勢50名が参加しました。
卒業生達は全国の病院や市役所で看護師、助産師、保健師として勤務しており、一人一人が挨拶を行い、日々の勤務の様子や近況報告等を行いました。そして久々に会った仲間達や教職員の先生方と仕事の話や大学での懐かしい話に花を咲かせました。
参加していただいた教職員の方々にも一人一人ご挨拶を頂き、各期で作成した学生時代の思い出が沢山詰まったDVDを上映するなど、とても賑やかな同窓会となりました。





支部だより

2015年支部総会学院関係出席者

支部名	出席者
北九州支部	十時理事長・松原名誉理事長・德永名誉院長・高島大学学長・碇大学事務部長
広島支部	十時理事長・松原名誉理事長・片野看護大学長・二田中高校長・丸田看護大事務部長
関西支部	十時理事長・松原名誉理事長・片野看護大学長・西原本部事務局長・丸田看護大事務部長
関東支部	十時理事長・寺園院長・德永名誉院長・高島大学学長・二田中高校長・西原本部事務局長
大分支部	十時理事長・寺園院長・松原名誉理事長・高島大学学長・片野看護大学長・丸田看護大事務部長
熊本支部	十時理事長・德永名誉院長・西山本部事務局次長
筑後南支部	十時理事長・松原名誉理事長・高島大学学長・西山本部事務局次長・碇大学事務部長・丸田看護大事務部長
長崎支部	十時理事長・寺園院長・高島大学学長・西山本部事務局次長・丸田看護大事務部長

支部名（支部会員数）
支部長名（卒年）

関西支部（467名）
大城 康子（S43年高卒）

10月17日（土）
ザ・リッツカールトン大阪 にて

穏やかな秋の日、関西支部総会・懇親会を、学院理事長はじめ恩師の先生方を交えながら、懐かしい話で盛り上がりました。日頃はお話することのない先輩や後輩とのひと時、総会に参加する楽しみでもあります。懇親会中盤でのピアノミニコンサートは、バッハで始まりました。久しぶりに聞く生演奏は、しっとりとお部屋の空気に馴染んでるようでした。短期大学部の浅田雅明先生にお話をしていただき、厳しい現状の中でも、留学や就職など将来を見据えて志望してくる学生のことを伺い頼もしく感じました。次期支部長は河本紀子さん（S41高卒）です。



関東支部（2,097名）
鈴木 恭子（S38年高卒）

10月23日（金）
ハイアットリージェンシー東京「桃山」にて

昨年度に続いてS62年高卒が当番を引受けさせていただきました。第1部礼拝の寺園院長の奨励で、学院聖旬の持つ意味の素晴らしさを再認識致しました。

第2部懇親会では理事長をはじめ、学院の方々から女学院の厳しい現状と展望を伺いました。Yuko Darjeelingとしてニューヨークでシンガーとして活動中の小田祐子さん（S62高卒）とギタリストのJun Asanoさんのステージに、たちまち会場はライヴハウスのようになり、大いに盛り上がりました。恩師として鶴英子先生にスピーチをお願いしました。幅広い年齢層の方々に楽しんでいただけるよう、プログラム構成を練ったつもりですがいかがだったでしょうか。



北九州支部（1,549名）
渕上 千津子（S48年高卒）

10月1日（木）
ステーションホテル小倉 にて

毎年10月1日に同じ会場での支部総会の開催が浸透してきたように思います。今回は「学生時代に何の部活動をしていたか」というテーマを含めて、自己紹介をしていただきました。コーラスで全国大会に行ったこと、中庭に地質学研究部で地球のジオラマを作ったこと、創作ダンスに夢中になったことなど、それぞれの思い出を語っていただきました。

支部総会は同窓生と語り合ったり、学院の方々のお話を直に聞くことのできるよい機会ですので是非ご参加ください。

尚、次期支部長は横田純子さん（S44年高卒）に交替いたします。よろしくお願い致します。



大分支部（892名）
安浪 敬子（S41年高卒）

11月6日（金）
ホテル ソラージュ にて

今回は日出市の海の見える会場で行いました。自己紹介では各々の楽しいお話を伺いました。クリスマスページェントや寮生活の思い出、在学中ヘレンケラーが来校されたこと、女学院は難関で同じ小学校から10名受けて合格はお一人だけでお母様がご自慢に思われたこと、「理科室前の鉱石見本を見るのが好きでした。」との発言に「その鉱石見本を作ったのはわたしです。」とおっしゃる方が現れ、ぶどうの枝の繋がりに会場は沸きました。先生と生徒4～5名で津屋崎の海岸に泊りがけで石取りに出かけて、グラインダーで削って作ったそうです。

次回から11月第1金曜に支部総会を開催することに致しました。会場決めは大変ですが、毎回場所が違うのを楽しみにしているといってくださいましたので、もう少し頑張ってみます。

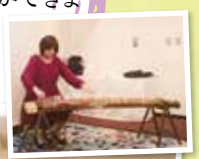


広島支部（139名）
守屋 靖子（S28年高卒）

10月16日（金）
ホテルグランヴィア広島 にて

今回で15回目の支部総会となりました。自己紹介では、それぞれが学生時代の思い出、女学院への熱い思い、ご家族のことなど語っていただきました。「私たちの受けた教育はよかった。」「信仰を持つことが出来たことに感謝します。」と語られる言葉が印象的でした。岩元文子さん（S63高卒）が琴の演奏を披露してくださり、楽しいひと時を持つことができました。学院の方々から女学院の厳しい現状をお聞きして、卒業生として何かお役に立てることができたらと思います。

次回もこのように学院の方々と共にお集まりができますことを楽しみにしております。





鹿児島支部
（402名）
菅原 愛子（S52年短卒）

2015年の支部総会は「本部の総会へ出かけましょう!」ということでみんなで福岡へ参りました。鹿児島は県内の交通の便が悪く、参加が困難な方もいらっしゃいますが、支部長、副支部長ともにお一人でも多くの方に参加していただけるよう努力しております。

短大卒の会員も多く参加しております。皆さま、どうぞ鹿児島支部総会へご参加ください。

熊本支部
（630名）
合志 知子（S51年高卒）

11月7日(土)
ANAクラウンプラザホテル熊本 にて

スカイテラスからの熊本の素晴らしい景色を堪能しながら、女学院生にタイムスリップして温かくなごやかな時間を過ごしました。

十時理事長先生からの現在の学院における厳しい状況とこれからの前向きなお考えをユーモアもまじえてお話し頂き、私達同窓生も少しでもお役にたちたいとの思いを新たにいたしました。徳永名誉院長先生からもいつもの穏やかな語り口でお話し頂き女学院の空気を思い出された方も多いと思います。また同窓生お一人お一人の生活の様子等も親しくお話しする事ができ、楽しい時間を過せたと、とても嬉しく思っております。

次回の秋の集いにもぜひ皆様にご参加頂けますようお待ち致しております。



中部支部
（126名）
平田 輝子（S51年高卒）

2016年3月開催予定

2015年度支部総会も前回に引き続き春に行いたいと思います。

2016年3月の開催に向けて、準備を進めているところです。

支部会員の皆さまには、近くご案内をお届けする予定です。

皆さまに楽しんでいただけるようなプログラムを企画中ですので、お友達とお誘いあわせの上、是非お越しください。他支部の方々のご参加も大歓迎です。

筑後南支部
（638名）
安藤 恭子（S48年高卒 S50年短卒）

11月11日(水)
ホテルニューガイア オームタガーデン にて

とてもさわやかな天気のもと、大牟田市内を一望しながら、支部総会を開催いたしました。

幅広い学年の参加で、人との繋がりを感じる和やかな会となりました。

自己紹介では、学生時代の思い出、学院の方々からの厳しい現状を伺って感じたことなど、思い思いにお話されました。

今回、初めての参加の方が2名いらっしゃいました。今後も是非、より多くの参加していただけよう努めていきたいと思います。



2015年度 支部長会

2015年5月15日(金)西鉄グランドホテルにて総会後、10支部支部長と本部役員と報告会及び活動方針について討議いたしました。



長崎支部
（690名）
大岩 しのぶ（S55年高卒）

12月5日(土)
ホテルオークラ JRハウステンボス にて

今回は、「花と光のクリスマス」で賑わうハウステンボスに隣接するホテルにて、支部総会を開催いたしました。全員で祈りそしてクリスマスの讃美歌4曲を歌い、よいアドベントのひとときを持つことができました。自己紹介では、各方面で活躍されている方のお話や女学院への熱い思いを伺うことができました。支部総会は長崎地区2年そして、佐世保地区1年のサイクルで開催いたします。次回は『長崎地区』です。皆さまに楽しんでいただける企画を考えています。是非、お越しください。



福岡女学院同窓会
2016年度 関東支部総会のご案内

日時 2016年10月21日(金)

場所 明治記念館
東京都港区元赤坂2-2-23

会費 8,000円+1,000円(支部会費)

関東支部フェイスブック
www.facebook.com/fukujokanto
当番学年 H1年高卒

どの支部会にも参加できますので、同窓会事務局にお尋ね下さい

卒業生紹介


中国にて日本への旅行者向けのテーブルマナー研修


南京航空航天大学 航空専門学科



株式会社ワンストップ・イノベーション
エグゼクティブマネジャー

愛甲 香織さん（S58年短卒）

元日本航空客室乗務員・訓練教官・採用面接官・皇室・首相・VIPフライト乗務・広報・教育企画・新制服プロジェクトなど、様々な業務に従事。
2007年～2010年　日本航空上海支店赴任、中国人客室乗務員育成に携わる
2012年　日本航空退社後、中国にて研修事業を開始
現在、東京、北京、上海3都市を中心に研修事業を展開。

同窓生としての私

1983年短大英語科を卒業後、日本航空に客室乗務員として入社し、29年間勤務いたしました。

在籍中は、乗務の他、人材育成、広報、サービス企画など様々な業務を経験させて頂きました。

仕事のキャリア、訪れた国々での異文化体験、そして、たくさんの方々との出会いにより、充実した日々を過ごすことができました。2007年から約3年半、上海赴任となり、中国人客室乗務員の育成に携わりました。

中国での生活は、想定外の発生は日常茶飯事、苦労もありましたが、非常に有意義な経験でした。

今、振り返ると、私が異文化や多様な価値観を持った方々との出会いに、臆することなく、尊重し共感し、時には違いを楽しむことが出来たのは、根底に女学院での学びがあったからだと思います。

「私はぶどうの木」の学院聖句は、世界観として私の中に息づいています。「求めなさい。そうすれば、与えられる。」の教えは、新しい事にチャレンジする時、常に私の励みとなりました。

卒業してから30年以上経ちますが、今でも、クラスメートやESSの仲間たちとの絆は、ずっと続いています。板倉武子先生のご指導のもと、英語発声練習に励んだ日々、チャペルでの礼拝、学院行事の思い出等、皆と会って話せば、あっという間に女学院時代にタイムスリップしてしまいます。当時、私達をいつも温かく見守り、自律性を促してくださった先生方、職員の皆様に改めて感謝の意を表します。

2012年、私は日本航空を退社し、中国で接遇マナーの研修事業を始めました。中国滞在の経験を活かして、サービス業の分野で、人と人が、そして日中両国がつながることに貢献出来たらという思いでした。

現在は、日本と中国を行き来しながら、中国では中国人の方に接遇マナーやマインドを、日本では、日本人の方に、訪日外国人の方をお迎えするにあたっての接客方法や異文化コミュニケーションをお伝えしています。

2014年訪日外国人数が1340万人過去最高となりました。「爆買い」という言葉も耳にされたかと思います。

少子高齢化が進む日本では、海外からの観光需要を取り込むことは、今後の経済発展に必要不可欠です。

2020年オリンピック開催、その後を見据え、観光立国実現を目指し、様々な取り組みがなされています。

特に、急速な経済発展を遂げるアジア諸国から、多くの方がいらっしゃる事で、地域活性化、雇用機会の増大などの効果が期待できます。何よりも、訪日された方々が、日本の魅力を知り、自国へ伝えることによって他の国と相互理解が進み、友好へ繋がる可能性は大きいといえるでしょう。福岡はアジアの玄関口です。訪日外国人の方々との交流において、女学院同窓生の活躍の場は、大きく広がるのではと想像いたします。私も、私のミッションとして、事業を通じて人と人、人と社会、日本と世界がつながる事に貢献できるよう邁進して参ります。

最後になりますが、今後の女学院と同窓会のますますの発展と皆様のご多幸を心よりお祈りいたします。


第19回グレープガーデンで舞を披露


大学時代の恩師 栗山昌子先生

坂田 彩さん（H20年大卒）

3歳より日本舞踊を始め、15歳で花柳流名取となる。
2009年、福岡女学院大学人文学部表現学科卒業。
その後花柳流界に入り芸者となる。
現在、粗忽屋すず柑として内浜落語会で踊りや大喜利、お囃子にて日々精進中。

西南女学院中高を経て、人文学部表現学科に入学いたしました。

高校3年生のときの担任の先生がクリスチャンで、受験を薦めていただきました。サークルは初め放送研究部に所属しておりましたが、ある時転機が訪れます。同部の先輩が「落語研究部」を創設したいと言われるのです。『名義貸し』とでも言うのでしょうか、創部には一定の人数が必要で、私は言われるがままに書類に名前を書きました。それから落研部員としての学生生活が始まりました。

全くやる気の無かった私は皆の後ろを仕方なく付いていく、という感じでした。しかし、部を創られた先輩が引退なさるときに何故か部長に任命され、とうとう逃げられなくなってしまったのです。手探りながらも、周りの方々の助けをお借りし、寄席を開催するなどしておりました。卒業後は幼少時から日舞を習っていたこともあり、芸妓となりました。お客様のご家族には同窓生もいらっしゃり、おかげ様で随分応援して頂きました。家族の介護のため、芸妓を引退することになったのですが、今でも芸事は続けさせて頂いております。落研時代からご縁のある「内浜落語会」に所属し、色物として踊りやお囃子をやっております。日本の芸能に中々触れることのない昨今、少しでも親しみを持っていただけたら、と思い、日々の活動をしております。沢山の同窓生がおられます中、この様な機会を与えて下さったこと、この場をお借りいたしまして感謝を申し上げます。

二田校長 校歌作曲♪

「春日市立 日の出小学校の校歌を作りました。」



福岡女学院中学校・高等学校
校長 二田 真知子（S45年音卒）

突然私は言葉を失いました。「えっ私が校歌を作るのですか？」「春日市の教育関係者の会議で校歌を作りかえることが決定し、福岡女学院中高校長の二田先生が推薦されました。」と教育長さんはご来校され、おっしゃいました。2014年の6月のことです。作曲家でもない私がなぜと思われることでしょう。本校の音楽科3年生が卒業式に招かれ、卒業証書授与時を含めての演奏をするという交流を続けていますので、福岡女学院高校音楽科⇒校長は音楽。ここから来たのだと思います。学校として受けようと思いましたがあくまでも個人への依頼でした。私は現在の校歌の楽譜を見せて頂き2，3日悩んだ末、お引き受けすることにしました。歌詞は現在のものを使うという事と最後を2部合唱にするというのがご希望でした。

この日からバッグには歌詞を貼った5線紙帳を入れ、バスや電車に乗った時など機会ある毎にメロディを書き留めるという生活が始まりました。おもしろいもので、2，3日後に良いぞと書き留めた旋律が以前のものとほとんど同じだったりして、“何と貧弱なセンス！”と笑う事も度々で、引き受けなければ良かったと何度思ったことでしょう。

問題は2つありました。1つは歌詞が短いことです。歌詞があと1フレーズあったらもう少し展開が出来たと思います。もう1つは小学生の音域です。考えたら小学生の歌声をもう何年も聴いていません。小学生用の楽譜と映像を見て勉強しました。そして新しく心がけたのは、ピアノ伴奏です。前曲がとても難しかったので、ピアノ既習者であれば弾けるレヴェルにしようと考えました。

お約束の9月、趣の異なる2つの作品を音楽科の先生方に見て頂きましたが、票が割れてしまいましたので、結局私が決める事となりました。最初に歌ってくれたのは音楽科3年生です。デモテープ作りに協力してもらいました。

それから3ヶ月後の12月6日（土）、日の出小学校の音楽発表会「さんさんコンサート」で正式に新校歌お披露目となりました。私も招待され挨拶もさせて頂き、小学生が気持ちをのせられる曲になっていれば良いと思いつつ、校歌を目の前で聴かせて頂きました。大きく元気な声でした。「ありがとう」と思わず声が出ました。

2015年8月、子ども達の校歌を歌っている最近の映像を見ました。このように歌い続けられていくのだなあと不思議な感慨を覚えました。歌は残るのですね。100年後はどうでしょうか。

教養講座 グレープ・ガーデン

第19回 グレープ・ガーデン　報 告

「落語を聴いてみよう！ ～親子で聴きたい冬の噺・藪入り」

日時　2015年2月7日（土）

講師　粗忽家勘心さん、粗忽家すず柑さん



今回は一般の参加者も多く、会場に演目台を設えたミニ寄席の雰囲気の中、グレープ・ガーデン初の落語鑑賞会を行いました。勘心さんは噺の前に、江戸時代の生活習慣を丁寧に説明してくださったので、落語への理解と面白さが一層深まりました。人情噺「勘定板」と「藪入り」には泣いたり笑ったり大いに沸き、是非落語会第二弾の開催をと切望されました。前頁にご寄稿の通り、大学卒業後花柳界に入り芸妓になられ、踊りや、大喜利、お囃子でご活躍中のすず柑さんが、日本の伝統舞踊をあでやかに舞ってくださいました。

第20回 グレープ・ガーデン　報 告

「女性のライフスタイルについて」

日時　2015年11月14日（土）

講師　特定医療法人光風会光風会病院
理事長・院長 江本 すずなさん（S59年高卒）

経済的、精神的な自立を目指す向上心を持った女性が増えています。そして、健康や若さに関して多くの情報を得たり、食べ物に敏感になっています。しかし、心の健康を保つことは忘れがちで、必要以上に頑張ることによりストレスを抱え、体調を崩し、心の病を抱えている人が増えているそうです。日ごろからバランスのとれた食事、良質の睡眠、ウォーキング、家族や友人等とのおしゃべりができる時間を日常生活に取り入れることが大切であると教えられました。



第21回 次回の予告

「嵯峨野の若女将に学ぶ 和食の魅力とマナーについて」

日時　2016年2月12日（金）

1部
10:00～11:00　於福岡女学院 天神サテライト
「日本の節句ひな祭り～和食の魅力について～」
会費　無料

2部
12:00～14:30　於料亭 嵯峨野
「和食のマナーについて～箸使い等のお話～」
会費　7,500円（ミニ会席料理代 税・サービス料込）
注）素足禁止です。
福岡市博多区住吉2丁目21-19

講師　料亭 嵯峨野 若女将 藤井 春奈子（すなこ）さん（S54高卒）
「和のマナー講座」、「文化に触れる会」、「お座敷遊びの会」等を企画し、日本の美しい文化を若い世代に伝えるべく発信している。

申し込み方法　①第1部のみ、第2部のみ、両方と申込みできます。②一般の方のご参加も可能です。③締め切りは1月29日（金）まで、定員になり次第締め切りさせていただきます。キャンセルは2月5日まで、それ以後は会費をいただく場合がございますので、ご了承ください。

申込み先：同窓会事務局（TEL092-575-2479）

同窓会会則

第四章　総　　会

（招集）
第17条　1　定期総会は会長が招集し、原則として、毎年１回開かなければならない。
　　2　臨時総会は、役員会が必要と認めるとき会長がこれを招集することができる。
（決議）
第18条　1　総会の決議は、出席会員の過半数の賛成がなければならない。
　　2　可否同数の場合は、議長がこれを決定する。
（決定事項）
第19条　総会は、次の事項を審議決定する。
　　(1)　役員の選任
　　(2)　会務の報告
　　(3)　会計報告
　　(4)　会費に関する事項
　　(5)　会則の改廃
　　(6)　その他の本会に関する重要事項

第五章　委　員　会

（委員会）
第20条　1　役員会は次の委員会をおく。
　　(1)　人事委員会
　　(2)　選考委員会
　　(3)　会則委員会
　　2　役員会は特別の事項を検討審議し、その目的達成を図るため必要と認めるときは、他の委員会を設けることができる。

第六章　支　部・部　会

第21条
（支部）
　1　本会の支部の成立は、正会員の２０名以上の申し出を必要とし、かつ委員会の承認を得なければならない。
（支部役員）
　2　支部は、支部長１名、役員若干名をおき、会員相互の親睦を図るとともに本会との連絡にあたる。
第22条
（部会）
　1　本会には以下の部会をおくことができる。
　　(1)　中学校・高等学校部会
　　(2)　短期大学部・大学部会
　　(3)　看護大学部会
（部会役員）
　2　部会は、部会長１名、役員若干名をおき、会員相互の親睦を図るとともに本会との連絡にあたる。

第七章　学年委員

（学年委員）
第23条　1　会員相互の円滑な連絡を図るため、卒業年次毎に学年委員をおく。
　　2　学年委員の任期は２年とする。ただし再任は妨げない。

第八章　会　　計

（年度）
第24条　会計年度は原則として毎年４月１日に始まり、翌年３月３１日に終わる。
第25条　会のすべての収支会計は毎年４月中に財務部が作成し、役員会の承認を得て総会に報告しなければならない。

第九章　同窓会職員

（同窓会職員）
第26条　1　本会に専任の職員及び臨時雇用者をおく。
　　2　専任職員及び臨時雇用者の任免、給与その他の待遇は役員会で決定する。
　　3　専任職員及び臨時雇用者は役員の指示のもとに実務にあたる。

付則

1　本会則実施上必要な選挙過程、議事規則、会計規則等の細則は、すべて役員会においてこれを定めることができる。
2　専任職員及び臨時雇用者の待遇については、就業規則、給与規定を別に定める。
3　本会則は、２００４年５月１７日から効力を生ずる。
4　本会則は第２条、第３条、第５条、第１３条、第１４条、第１５条、第２１条、第２２条、第２３条を改訂し、２０１３年５月１７日より施行する。
5　付則の年次を整えるために西暦、和暦併記とする。
6　本会則は第１２条を改訂し、２０１４年５月１６日より施行する。

１９５２（昭和２７）年６月１５日　制　定
１９６６（昭和４１）年４月　１日一部改正
１９７０（昭和４５）年５月１６日一部改正
１９７９（昭和５４）年７月２１日一部改正
１９９３（平成　４）年５月１７日一部改正
１９９５（平成　６）年５月１９日一部改正
１９９６（平成　７）年５月１７日一部改正
２００２（平成１３）年５月１７日一部改正
２００４（平成１５）年５月１７日一部改正
２０１１（平成２３）年５月１７日一部改正
２０１３（平成２５）年５月１７日一部改正
２０１４（平成２６）年５月１６日一部改正
２０１５（平成２７）年５月１５日一部改正

福岡女学院

第一章　総　　則

（名称所在地）
第1条　1　本会は福岡女学院同窓会と称する。
2　本会は本部及び事務局を福岡女学院内（福岡県福岡市南区曰佐３丁目４２番１号）におく。
3　本部については別途定める。

（目的）
第2条　本会は福岡女学院建学の精神に基づき、会員相互の連絡および親睦を図るとともに、福岡女学院本部大学総務課と連携を図りながら、母校の発展に寄与することを目的とする。

第二章　会　　員

（会員）
第3条　本会は次の各号に定める会員をもって構成する。
(1)　正会員　福岡女学院大学（大学院を含む）、福岡女学院看護大学、福岡女学院大学短期大学部、福岡女学院高等学校、福岡女学院中学校及びそれ等の前身校のいずれかを卒業した者。
(2)　準会員　本学院に、原則として各学校の終業年限の１／２以上在学した者で、入会を希望し、役員会で承認した者。
(3)　特別会員　本学員の現・旧の専任職員で、入会を希望した者。

（顧問）
第4条　本会は次の顧問をおく。
(1)　院長
(2)　学長、校長
(3)　役員会が推薦した者

（入会金・会費）
第5条　1　正会員、準会員及び特別会員は、入会の際入会金を納めなければならない。
2　正会員、準会員及び特別会員は、規定の年会費を納めなければならない。
3　入会金および年会費は別に定める。

第三章　役員及び役員会

（役員）
第6条　1　本会は次の役員をおき、役員会を構成する。
(1)　会　長　　１名
(2)　副会長　　４名以内
(3)　書　記　　２名
(4)　監　査　　２名
(5)　幹　事　　３０名以内
2　必要に応じ、前項各号の役員の他に名誉会長をおくことができる。

（会長）
第7条　会長は本会を代表し、会務を行う。

（副会長）
第8条　副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはこれを代理する。

（書記）
第9条　書記は本会の活動を記録する。

（監査）
第１０条　監査はその年度の会計を監査し、総会において報告する。

（幹事）
第１１条　幹事は必要に応じ、会務の任にあたる。

（任期）
第１２条　1　役員の任期については、次に定めるものとする。
会長　　２年
副会長　２年
その他の役員　２年
2　再任は妨げない。
3　再任は連続３期までとする。

（選出の方法）
第１３条　1　会長は、本会の正会員のなかから選出する。ただし、福音主義のキリスト教会に属する教会員であることが望ましい。
2　会長、副会長は、役員の推薦により、正会員のなかから選考委員会が選出し、役員会で決定し、総会で承認する。
3　書記、監査、幹事は、会員の推薦により、正会員のなかから選考委員会が選出し、役員会で決定し、総会で承認する。但し幹事は会員数、卒年次連絡の便宜等を考慮して選出する。
4　役員に欠員を生じた場合、役員会がこれを補佐する。但し補任された役員の任期は前任者の残任期間とする。

（役員会）
第１４条　1　役員会は必要に応じて会長がこれを招集し、議長は会長が指名する。
2　役員会は過半数の出席をもって成立する。
3　学院との連携を図るため、役員会に本部大学総務課職員を陪席させることができる。

（会務）
第１５条　1　役員会は、会務の企画、立案、および実行にあたる。
2　役員会は次の各部を設け各役員が夫々担当する。
(1)　総務部
(2)　会員部
(3)　広報部
(4)　財務部
(5)　活動推進部
3　役員会は必要に応じて、その他の部も設け、或いは廃止することができる。
4　各部の役務は別に定める。
5　役員会は、学院からの要請に応じて学院の委員会に委員を出席させる。

（理事評議員）
第１６条　本会は学校法人福岡女学院理事２名以上および評議員５名以上の候補者を、学校の要請により、正会員のなかから役員会で推薦する。

大学開学25周年記念行事

10月31日(土)、爽やかな秋晴れの下、福岡女学院大学開学25周年記念行事が執り行なわれました。

ギール記念講堂で、まずパイプオルガン・ミニコンサート、続いて『世界とつながる女性の生き方－福岡女学院大学のMission spirit－』と題して卒業によるシンポジウムが、その後は会場を大学カフェに移してティー・パーティーが行なわれました。

福岡女学院大学は1990年4月に小郡の地に開学しました。それから25年、これまでに約8,500名の卒業生が巣立っていきました。社会人として、女性として、妻として、母として、何を思い、どのように行動して自己実現をしているのか。開学25年の節目に、シンポジウムという形で、各分野で活躍する卒業生の実体験を、在学生、卒業生、教職員、さらにはこれから大学進学をする高校生が、それぞれの視点で共有することができました。



左からサラさん(ゲスト)、柴田さん、土肥さん、中島さん、髙島学長、井手さん、岩橋さん、廣田さん、細川学部長

シンポジスト

岩橋 美智子さん	UNICEF(国連児童基金)東京事務所 人文学部 英米文化学科(1999年卒)
井手 久美さん	中学校　国語科教諭 人文学部 日本文化学科(1998年卒)
廣田 瑞穂さん	臨床心理士 大学院 臨床心理学専攻(2005年卒)
柴田 あづささん	日本語教員 人文学部 英米文化学科(1999年卒)
中島 実紀さん	客室乗務員 人文学部 現代文化学科(2010年卒)

コーディネーター

土肥 起世さん	フリーアナウンサー 人文学部 英米文化学科(2003年卒)

参加した卒業生からは「同じ大学を卒業した同世代の方々の活躍、考え方を聞き、とても刺激になった」、在学生からは「卒業生の生の話しが聞けて、これからの進路について考える良い機会となった」等の感想が聞かれました。



お祝いのメッセージをいただいた小田桐先生

カフェで行なわれたティー・パーティーは、室内の飾り付けや綺麗にカッティング・盛り付けられたフルーツアートに至るまで、職員の方々が、「お帰りなさい」の気持ちを込めて準備されたものでした。会場は、温かい雰囲気の中、懐かしい恩師や旧友との再会を喜び合うたくさんの笑顔で溢れました。

多くの懐かしい先生方の中から、小田桐 弘子先生、板倉 武子先生、齊藤 皓彦先生、德永 徹先生より、お祝と激励のメッセージをいただきました。

また、会の終わりには、同窓生でシンポジストである柴田 あづささんより、開学25周年を機に、同窓生間の連絡と親睦、母校の発展に寄与することを目的に、同窓会の大学部会立ち上げの呼びかけが行なわれました。今後同窓生の協力を得ながら、立ち上げの準備を進めていくことが賛同されました。

参加者は楽しいひと時を過ごし、明日への活力を胸に、再会を約束して、それぞれの場所に戻っていきました。



感動の再会に思わず抱擁！



同窓会大学部会の立ち上げの呼びかけをしてくださった柴田あづささん



可愛いキッズ達も楽しく参加しました！

福岡女学院同窓会 大学部会について

現在、立ち上げに向けて準備を進めています。
今後の情報は、同窓会誌『ぶどう』や福岡女学院広報誌『MISSION』で随時お知らせしていく予定ですが、個別に、確実に情報をお受取りになりたい方は、下記メールアドレスまでご連絡ください。

福岡女学院同窓会

E-mail　alumnae@fukujo.ac.jp

①氏名、②旧姓、③出身学部・学科、
④卒年、⑤大学部会の情報を希望することを
明記してください。



音楽科卒業生会



2015年度卒業生演奏会終演後の記念撮影

高校音楽科は3年間同一クラスであること、志同じ者は同じ大学に進学していく者が多いということもあり、その絆の深さは学院一かもしれません。「女学院から離れてもその絆は大切にしたい」との思いから「福岡女学院高等学校音楽科卒業生会（以下、音楽科卒業生会）」は1995年に正式に活動を開始しました。文字通り「ゼロからのスタート」でありましたが、そこは音楽で培った根性で一つ一つ乗り越えてきました。以来、年2回（春・秋）の学年代表委員会、総会・懇親会、演奏会、卒業生会通信の発行は一度も欠かすことなく続けてきました。会員はピアノ専攻が多数を占めていますが、演奏会はピアノ独奏だけではなく、様々な楽器とのアンサンブル、古典期から近現代期の作品を取り上げるなど、毎年ヴァラエティー豊かなプログラム構成になっています。

少子化、女子教育の変化に伴い、専門的な音楽教育を望む人口は減少の一途を辿っております。私たち卒業生にできることは何か。音楽を志す者があれば大切に育て、そして自分たちが学んだ誇るべき母校に繋げることではないか、と思います。これからも音楽科卒業生会の活動を通して、「音楽を学ぶのならば福岡女学院の音楽科へ」とひとりでも多くの人にその思いを届けたいと思います。

最後になりましたが、このたび、音楽科卒業生会は発足20年目の節目の年に、同窓会本部より正式に部会として認めていただきました。福岡女学院の「音楽」というぶどうの一枝につながった音楽科卒業生会は発足当初より同窓会はもとより学院、中高等たくさんの皆様にご支援ご指導賜ってまいりました。心より感謝申し上げます。



2015年9月より水上史子（S60高卒）を卒業生会代表とし、新メンバー4名を加え10名で新役員会がスタートいたしました。活度を充実させるために、皆様からのご意見やご要望などをお寄せいただきたいと思います。今後もご支援、ご指導よろしくお願いいたします。

今年は33回生川波幸恵さんと山口亮二さんによるバンドネオン＆ギターのデュオコンサートもありました。
東京から恩師の児玉敬先生（1979～1992ご在職）も駆けつけてくださいました。



2015年音楽科総会

卒業生合唱団「葡萄」

ありがとう 二十周年です。

卒業生合唱団「葡萄」はお陰様で2016年早々設立20周年を迎えます。3月には大学卒業礼拝、看護大学卒業式、5月には同窓会総会そして12月には大学クリスマス礼拝と年間5回も学院内でうたわせていただけるのは、ひとえに同窓生の皆様の暖かいご支援のお陰といつも深く感謝しております。月に2回、時には1回になることもありますが、水曜日の午前中、お茶の時間を含め2時間、讃美歌で声ならしをし、その時々に必要な曲を練習しています。平均約70歳、しかし気持ちは20年変わらず楽しく、ゆるやかに歌ってきたことが、20年続けられた要因だと思っています。団員1人1人が旅行費用を毎月少しずつ積み立て、ヨーロッパの教会を巡り、歌わせてもらうという旅行しました。ザルツブルグ大聖堂、ドレスデン聖母教会、聖トーマス教会、ベルリン大聖堂では素晴らしい響きを体感させてもらいました。この得難い体験も同窓生でドイツ在住のメグム・ロンメルさん（旧姓／田中 S55高卒）のご主人のアルフレッドさんのご尽力の賜物です、恵さんありがとう。誌面を借りてお礼申し上げます。

これからも錆びない心と体を目指してがんばりますので、見守ってください。



バザー報告

学院や同窓会のイベントの際に
ミッショングッズの販売や
バザーを行っています。

出店者募集!



今年も創立記念日に同窓生による出店(但し、出品者本人の手作り品に限る)を募集いたします。
ご出店品の一部に女学院限定販売を感じさせる物、例えばぶどうや錨、中高制服の色(夏服をイメージするブルーと白、冬服をイメージする紺とエンジ)を使用した物などお願いします。
出店のご希望や詳しい内容のお問い合わせは同窓会事務局(Tel/Fax 092-575-2479)までお申込み下さい。
但し、出店料が必要です。(参考価格2015年3,000円)
応募が多数の場合は役員会にて検討させていただきます。

応募締切 2016年2月末

2015年のバザー

学院や同窓会のイベントの際
ミッショングッズの販売やバザーを行ってます。

- 2015.03.03 高校卒業50年記念祝会
- 2015.05.15 同窓会総会(西鉄グランドホテル)
- 2015.05.16 創立記念日・同窓会ホームカミングデー
- 2015.09.12 中高「女学院祭」
- 2015.4月、10月～2016.3月 各支部総会
- 2015.12.22 メサイアコンサート(アクロス福岡)

※利益の一部はバザーの当該部署の支援金とします。
その他は、同窓会運営会計の寄付金の収入とし、使途については役員会で討議いたします。

Fukuoka Jo Gakuin Alumnae Association

Mission Goods ミッショングッズのお知らせ

同窓会では、総会、創立記念日等学院のイベント、各支部総会にてミッショングッズを販売しております。
グッズについての詳細は同窓会ホームページをご覧ください。
また、同窓会事務局でもお買い求めいただけます。

博多人形「学校へ」のご案内

創立以来受け継がれてきた、
福岡女学院中学・高校の制服姿が
博多人形になりました。

制作者 博多人形師・博多人形白彫会会員・福岡女学院天神サテライト講師
永野 繁大

冬服・夏服 各3000円

なお、注文をお受けしてからの製作になりますので、発送までに少々お時間がかかります。
宅急便にてお送りいたします。
別途送料はご負担下さい。

お問い合わせ、お申し込みは同窓会事務局まで。





同窓会サポーター募集!

同窓会の活動のお手伝いをしてくださる「サポーター」を募集しています。
女学校、中高、短大、大学、大学院、看護大すべてのグレード卒業の方が対象です。
1日だけでも、遠方の方でもOKです。バザーやホームカミングの際には「サポーター」の方々にご協力いただいています。ご自分に合った同窓会や学院へのサポートの方法があると思いますので、まずはご登録をお願いします。サポーターとしてご登録いただける方は、**同窓会事務局(TEL&FAX:092-575-2479)**までご登録ください。
ご協力をよろしくお願いします。



中高「女学院祭」にて

お仕事会報告

本年度も盛会のうちにバザーを終了でき、同窓生・学院関係の皆様に心からお礼申し上げます。

お仕事会は発足して20数年を経て、仲間たちも高齢になってきました。これからもお仕事を楽しみながら歳を重ねていきたいと思います。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。





バザー収益金の寄付先

- 卒業生合唱団「葡萄」 …… 2万円
- 中高生徒会 …… 3万円
- 中高YWCA …… 3万円
- SOS子どもの村JAPAN …… 3万円
- 子供の村福岡を設立する会 …… 3万円
- 国境なき医師団 …… 2万円
- NPO法人ロシナンテス …… 2万円
- 福岡女学院教会クリスマス献金 .. 1万円

同窓会本部

会長 伊藤 和子（S46年高卒）

副会長 鶴 英子（S38年高卒）
園田 浩子（S39年高卒）
山下 偕子（S55年高卒）

監査 小串 洋子（S42年高・S44年短卒）
菅原奈穂子（S63年高・H3年短卒）

書記 須藤 敬子（S55年高・S57年短卒）
永田 典子（S59年高・S61年短卒）

総務 元山 香織（S59年高・S61年短卒）
境 紀子（S51年高卒）
高木 文（S52年短卒）
日下部千春（S59年高卒）

会員 泉田 裕子（S52年高卒）
中野真理子（S45年短卒）
稲原しのぶ（S54年高卒）
水野 朋子（S56年高・S58年短卒）

広報 末吉 恵子（S60年音卒）
角 静香（S46年高卒）
藤 良香（S53年高卒）

財務 松島 純子（S47年高卒）
月野木直子（S60年音卒）

活動推進 水田 美絵（S54年高卒）
藤原 京子（S43年音卒）
弥永美保子（S55年高卒）

事務局 白木美恵子（S56年高・S58年短卒）
時政 洋子（S54年高卒）
藤井 美穂（S58年音卒）

● 同窓会役員募集のお知らせ ●

同窓会活動に参加していただける役員を募集しております。一緒に活動してくださる方は、是非ご連絡ください。自薦他薦は問いません。選考委員会による選考があります。お問い合わせは同窓会事務局まで。

活動報告

1. 同窓会総会
2. 支部長会
3. 支部総会
4. 創立記念日のホームカミング
5. 卒後50年の同窓生の卒業式招待
6. 卒後25年同窓会開催への支援
7. 文化祭、講演会、学院行事への協力
8. 会報「ぶどう」発行
9. 85歳以上の会員へのクリスマスカード発送
10. 教養講座「グレープ・ガーデン」開催
11. 会計処理（予算、決算、監査）
12. オリジナルグッズの企画、バザー開催
13. 役員会
14. 同窓会開催への支援
15. ホームページ管理
16. 会員情報データ管理

中庭 自動散水機 導入

同窓会センターがある“100周年記念館”に中庭があるのをご存知ですか？「ヤマボウシ」の木を囲むように円形の花壇、そしてその周囲と庭の四隅には季節感あふれる花々が華麗に植栽されています。

中庭のデザインは英国王立園芸協会会員、天神サテライト講師でもある石井康子先生にお願いし、大学人間関係学部フィールドワーク授業の一環として、学生とともに花の植え替え作業や花壇のメンテナンスを行っています。2015年4月、栗山昌子さん（S30高卒）より自動散水機が寄贈、導入されたことで、雨の少ない時期に水枯れをすることもなくなり、草花は生き生きと育っています。

きれいに整えられた中庭は学生や職員だけではなく、学院に来られたお客様にも憩いの場として大変喜ばれています。



会計報告

■ 会費会計／収入の部

入会金	2,442,000円
会　費	20,560,000円
合　計	23,002,000円

■ 会費会計／支出の部

運営会計へ　19,938,081円

2014年度運営会計決算

■ 運営会計／収入の部

（単位：円）

	2014年度予算	2014年度決算	予　算　比	備　　考
会費会計より	19,938,081	19,938,081	0	
受取利息	0	3,335	-3,335	受取利息
雑収入	0	0	0	
寄付金	0	51,525	-51,525	寄付金
イベント収入	2,500,000	3,092,710	-592,710	総会費、グッズ収入
前期より繰越	7,301,919	7,301,919	0	
合計	29,740,000	30,387,570	-647,570	

■ 運営会計／支出の部

（単位：円）

	2014年度予算	2014年度決算	予　算　比	備　　考
総務部費	2,250,000	2,643,261	-393,261	総会費、支部総会参加交通費他
会員部費	1,100,000	898,324	201,676	ホームカミング、卒後50年招待費、入会記念品費他
活動推進部費	1,500,000	1,375,189	124,811	グッズ関連費、バザー開催費他
広報部費	3,560,000	3,685,113	-125,113	会報「ぶどう」発行費、支部総会参加交通費、広告料他
活動費	360,000	218,744	141,256	グレープガーデン開催費、オリエンテーション費他
支部関連費	2,050,000	1,800,900	249,100	支部支援金、支部長会開催費、支部総会参加費・交通費他
支援金（学院・会員）	1,090,000	829,828	260,172	各グレード・メサイア・サテライト支援費他
会議費	200,000	113,909	86,091	コーヒー代他
給与費	4,500,000	4,572,823	-72,823	事務職員3名分
コンピューター関連費	1,380,000	893,913	486,087	機器リース料、メンテナンス料、コピー料、ホームページ関連費他
旅費・交通費	600,000	460,310	139,690	役員交通費・事務局支部総会交通費他
通信費	300,000	342,634	-42,634	電話・郵便代他
雑費	400,000	393,887	6,113	税理士報酬、役員保険料、書籍代他
消耗品費	250,000	225,751	24,249	事務・衛生用品代他
設備・営繕費	150,000	159,163	-9,163	中庭ガーデニング費用他
慶弔費	50,000	10,000	40,000	カフェオープンお祝い花代
同窓会100年史費	500,000	270,119	229,881	事務用品代、会議費、取材費、支部総会参加費用
予備費	500,000	0	500,000	
学院支援積立金	8,000,000	8,000,000	0	中高国際交流事業支援金
学院130周年記念費	1,000,000	0	1,000,000	
合計	29,740,000	26,893,868	2,846,132	
次期繰越	0	3,493,702	3,493,702	
合計	29,740,000	30,387,570	-647,570	

2015年4月27日監査の結果、相違のないことを認めます。（監査）

2015年度運営会計予算

■ 運営会計／収入の部

（単位：円）

科　　目	2015年度予算	備　　考
会費会計より	21,211,009	
受取利息	0	
雑収入	0	
寄付金	0	
イベント収入	2,500,000	
前期より繰越	3,493,702	
特別活動費繰越金	955,289	
合計	28,160,000	

■ 運営会計／支出の部

（単位：円）

	2015年度予算	備　　考
総務部費	2,550,000	総会費他
会員部費	1,150,000	ホームカミング、卒後50年招待費、入会記念品費他
活動推進部費	1,300,000	グッズ、バザー開催費他
広報部費	3,850,000	会報「ぶどう」発行費他
活動費	270,000	グレープガーデン開催費、会長・副会長活動費他
支部関連費	1,930,000	支部支援金、支部総会費他
支援金（学院・会員）	1,110,000	各グレード・メサイア・天神サテライト支援費他
会議費	100,000	会議費
給与費	3,750,000	事務局3名
コンピューター関連費	1,680,000	機器リース料、コピー料、ホームページ関連費他
旅費・交通費	270,000	役員交通費、その他交通費他
通信費	360,000	電話、郵便代他
雑費	420,000	税理士報酬、保険料他
消耗品費	220,000	事務用品代、衛生用品代他
設備・営繕費	150,000	ガーデン関連費、ピアノ調律代他
慶弔費	50,000	
同窓会100年史費	3,000,000	同窓会100年史出版費用
学院支援積立金	3,000,000	
学院130周年記念費	1,000,000	
特別活動費	1,000,000	
予備費	1,000,000	
合計	28,160,000	

財務部より

同窓会会員の皆様からの貴重な会費を同窓会活動の運営と学院の発展のために、大切に使わせていただいております。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

同窓会へのご寄付ありがとうございました。（五十音順）

S30年高卒クラス会様、H6年高卒クラス会様、阿部菜穂子様、金堂敏子様、楠川恵美子様、黒瀬嘉代子様、後藤好子様、進藤芳子様、長岡陽子様、東村嘉子様、福永登美恵様、真壁喜實子様、元木いずみ様、吉田美智代様

同窓会の財政基盤である会費収入が、ここ数年、毎年減少してきています。未納の方は会費納入のご協力をお願いいたします。

[同窓会会費納入にご協力を!!]

会費の振込は次ページの振込用紙をご利用ください。この振込用紙は同窓会会費専用の振込用紙ですので、他のお支払いにはくれぐれも利用されないようお願いいたします。同窓会会費は1口1,000円ですが、1,000円から何口分でもお支払いいただけます。満期は50口です。会報「ぶどう」の送付の際の宛名ラベルシールの左下に数字が記載されている場合は、会費の満期までの口数となります。何も記載されていない場合には完納されている方です。

郵便振込口座番号　01790－4－19034　福岡女学院同窓会

■ 満期までの口数（残）

完納された方にはこの数字が入っていません。

（例）この場合は満期（額）に対して21口分（21,000円）残っています。
※1,000円から何口分でもお支払いいただけます。

ご不明な点は同窓会事務局までお尋ねください。
（TEL&FAX 092-575-2479）

宛名ラベルシール

〒811-1313
福岡県福岡市南区日佐3-42-1

福岡　花子　様

21

29990013

■ 会員No.

氏名の漢字表記について

氏名の表記でシステムの都合上、旧字体など表示できない場合がございます。その場合は**代替文字**で表記させていただきます。ご了承ください。

例：吉➡吉　辻➡辻

ご住所のお届けについて

卒業後の住所のデータ管理は同窓会事務局にて行っております。同窓会へのお届けの住所、氏名等に変更がある場合には必ずご連絡ください。住所変更はホームページからもできます。

同窓会事務局　TEL&FAX 092-575-2479
ホームページ　http://www.fukujo.ac.jp/alumnae/　　E-mail　alumnae@fukujo.ac.jp

Shores of the Sea of Galilee

ガリラヤ湖のほとり

短期大学部准教授　徐　亦猛

「しかし主を待ち望む者は新たなる力を得、
わしのように翼をはって、のぼることができる。
走っても疲れることなく、歩いても弱ることはない。」
（イザヤ40：31）

昨年、創立130周年を迎えた福岡女学院の長い歴史の中で、多くの新しいものが生まれると同時に、時代の役割を終えて消えていくものもあります。しかし、福岡女学院草創期や厳しい戦時中から今日までずっと大切に守り続けてきたものは、チャペルで行われる礼拝です。これは、福岡女学院の教育の重要な一環であり、建学の精神である「イエス・キリストに基づく教育」を堅持するための学院の伝統です。

チャペルでの礼拝というのは、宗教儀礼としてだけではなく「神の前では等しく一個の人間である」という自覚を学生一人ひとりが持ち、人間として生きるにあたって真に大切なものについて考え、自分自身に向き合い、静かに自分を見つめなおすことができる意義深い時間です。福岡女学院と繋がる園児、中学生、高校生、大学生は毎日のチャペル礼拝で、讃美歌を歌い、礼拝の奨励に耳を傾け、目をむけるのをわすれがちな自分と向き合って、自分を、他者を、世界をかけがえのないものとして大切にし、そこから自分の生き方を形成していくことを学んでいます。毎日こういうひとときのチャペルの時間があってこそ、学生生活全体が豊かなものとして、活力と潤いを帯びてきます。今年、私のクラスに入ってきた一人の女学院中高出身の学生は、女学院でキリスト教に出会い、チャペルでの礼拝を通して、キリスト教に興味をもち、自分で聖書を読むようになり、教会にも通い、バプテスマを受けました。現在毎日生き生きと、楽しく学生生活を過ごしています。このように、若い学生たちはチャペルの礼拝に参加することによって、新たなる力を得て、高い視点から自分の人生を眺めて生きることを可能にしています。これからも130年間の大切な福岡女学院の伝統を守る一方で、未来に向けての躍動が絶え間なく続いていくことを願っています。

逝　去

つつしんで哀悼の意を表し、
主による平安をお祈りいたします。

2015.1.23	星　信子	（直村）	S6女S7専1
2013.6.7	赤中　美代子	（中江）	S 7 女
2014.12.5	三原　マ子子	（三原）	S 7 女
2014.11.30	和木　幸ヨ子	（皆川）	S 8 女
2014.9.24	嶋　スミ子	（吉住）	S 8 女
不　明	西嶋　フ	（西嶋）	S 11 女
2014.12.20	岡部　俊子	（戸次）	S13女S14専1
2014.10.7	田　政子	（山田）	S13女S14専1
2015.5.23	藤　竜子	（岡松）	S 15 女
2014.11.25	岩　ヌヱ	（荒川）	S16女S17専1
2015.9.3	高　枝春	（立花）	S 16 女
2015.1.21	田　子正	（清森）	S 17 女
2015.3.4	清　子イ	（吉田）	S 17 女
2014.12.23	尾　子津	（井福）	S 19 女
2014.1.4	上　世玲	（榎本）	S 26 高
2014.12.29	橋　子滋	（難波）	S 20 女
2015.4.26	本　義	（西原）	S 20 女
2015.4.12	田　子	（藤村）	S20女S22専1
2015.1.23	原　康正	（中村）	S20女S22専1
2015.6.1	中　子津	（小出）	S 20 女
2014.1.21	田　勢桂	（小野田）	S 24 女
2014.12.25	出　子名	（安武）	S43高S45短
2015.1.16	野　子冴	（秋山）	S 27 高
2015.1.26	川　子洋	（今泉）	S 27 高
2014.12.30	浦　子絢	（守永）	S27高S28専1S29専2
2015.6.5	城　子淳	（町田）	S 28 高
2014.12.20	永　子節	（春日）	S 29 高
2015.4.24	原　子和	（鋤柄）	S 30 高
2007.1.3	谷　子秀	（西村）	S 30 高
2015.4.18	辻　子京	（美奈川）	S 30 高
2012.11.20	桐　代純	（竹崎）	S 31 高
2013.10.30	本　子純	（奥村）	S 34 高
2015.10.18	末　枝菊	（川添）	S 20 女
2013.11	尾　りどち	（武藤）	S 43 高
2015.1.3	岐　よ樹	（原）	S 44 高
2013.4	志　子紀	（大楠）	S 45 高
2015.2.15	原　子千	（堀内）	S 46 短
2013.7.21	木　代啓	（善）	S 49 高
2014.12.1	村　子清	（平川）	S 49 高
2011.12.22	篠　子真	（吉田保）	S 50 短
2015.1.10	原　弓智	（吉田）	S 52 高
2014.7.10	藤　子津	（久恒）	S 53 短
2015.7.16	佐　子美	（大石）	S 54 高
2015.9.12	臼　子英	（大澤）	S 56 高
2015.8.28	杵　子恵	（増永）	S 56 高
2015.9.12	保　子加	（白水）	S56高S58短
2015.2	松　子	（水口）	S 57 高
2015.8.28	本　恵子	（藤野）	S 60 高
2014.1.9	野　子き	（田代）	S 62 短
2012.6.30	代　鶴	（小西）	S 63 高
2015.8.3	西　み千	（田中）	H 8 高

※（　）旧姓です。　※卒年順です。

ネパール大地震救援募金へのお礼

日頃のご支援に感謝申し上げます。

この度は、創立記念行事に行いました「ネパール大地震救援募金」に多くの同窓生の皆さまにご協力いただきまして誠にありがとうございました。当日の募金額は117,585円となりました。学内での募金活動、西鉄大橋駅前や天神での街頭募金なども行い、総額は258,008円となりました。皆さまからいただいた募金はクリスマス献金の一部と併せて、本学留学生が現地で所属しているネパール・カトマンズの教会に直接送金いたしました。

同窓生の皆さま、今後とも大学学友会を宜しくお願い致します。

福岡女学院大学 学友会総務
会長 宮川 晏奈

同窓会100年史

2016年3月頃 発刊予定

ご協力頂きました皆様には心より御礼申し上げます。
100年史制作委員会 一同



卒後50年の同窓生の卒業式招待

卒後50年を記念して、母校の卒業式にお招きします。今年は**S40年高卒**の皆様方です。
どうぞお楽しみに。当日は式後、同窓会センターにて軽食の準備をしております。

日 時 **2016年3月1日 火** 10:00～
場 所 **ギール記念講堂**



卒後25年同窓会のご案内

創立記念日に高校卒業後25年の同窓会開催を支援しています。
今年は**H3年高卒**の皆さまです。当日、お子様同伴も大歓迎です。お誘いあわせの上、ご来会ください。

日 時 **2016年5月18日 水** *詳細につきましては、別途ご案内させていただきます。



福岡女学院 創立131周年

同窓会 ホームカミング＆バザー

2016年5月18日(水) 10:00-15:00

メイポールダンス終了後
同窓会センターにてお茶とお菓子をどうぞ

卒業生による手作り品バザー・ミッショングッズ等を販売致します。
懐かしい先生方やお友達と楽しいティータイムをお過ごしください。
どなたでもお越しいただけますのでお誘いあわせのうえ、
是非お越しください。





「第33回メサイア」を無事盛会の内に終了できましたことを
心より感謝申し上げます。
さて、今年も「第34回メサイア」を開催いたしますので、
皆様お誘い合わせの上ご参加くださいますようご案内申し上げます。

第34回 メサイア
2016.12.22(木)
開場/18:00 開演/18:30

会 場 アクロス福岡 シンフォニーホール
指 揮 未定

合唱団員募集

7月中、総務課で受け付けます。
はがき、電話、ファックスまたはEメールで申し込んでください。
申し込み方法：名前、住所、電話、パート、卒業年度、
メサイア経験有無を明記してください。

申し込み先

〒811-1313
福岡市南区日佐3丁目42-1
福岡女学院本部大学総務課宛
TEL:092-581-1492 FAX092-575-2470
E-mail:messiah@fukujo.ac.jp

編集後記 ぶどうの一粒

新年あけましておめでとうございます。
表紙をリニューアルした同窓会会報「ぶどう」21号をお届けするにあたり原稿をお寄せいただきました方々、また、数々のご協力いただきました事に感謝いたします。
皆様のご健康をお祈りいたします。 （広報部：末吉 恵子、角 静香、藤 良香）

皆さまの声をお聞かせください。ご意見、ご感想をお待ちしてます。

福岡女学院同窓会会員数 44,625名

女学校卒	2,109 名	短大卒	22,106 名
専攻科1卒	716 名	大学卒	8,496 名
専攻科2卒	114 名	看護大卒	408 名
高校卒	14,098 名	大学院卒	72 名

※重複あり(2015.12.2現在)

●福岡女学院同窓会会報「ぶどう」第21号 2016

福岡女学院同窓会
〒811-1313 福岡県福岡市南区日佐 3-42-1
TEL・FAX(092)575-2479
【ＵＲＬ】http://www.fukujo.ac.jp/alumnae/
【E-mail】alumnae@fukujo.ac.jp
福岡女学院 同窓会 検索

■個人情報取扱いについて

2005年4月より、個人情報保護法が制定されました。個人情報を取り扱う同窓会事務局としましても、慎重に皆様の会員データを管理しております。懐かしいお友達へのご連絡など、事務局へ沢山のお問い合わせがございますが、必ずご本人様への確認をさせていただいた上でお答えしております。同窓会会員には同姓同名の方が多くいらっしゃいます。データ管理の間違いを防ぐために生年月日のご確認をさせていただきます。皆様のご理解とご協力をお願い致します。

住所・氏名変更、同窓会会費その他お問い合わせ、ご連絡は同窓会事務局へ（受付時間：月～金 午前10:00～12:00／午後13:00～16:00）